



## Aquarius Energy, CEO 福田 晃一

日本に生まれ、米国および欧州にて教育を受ける。採用／HR／企業統治の分野でも国際的に認められている数少ない日本人。米国でIPOを2度経験している。

2度目のIPO以降この20年ほど環境ビジネス、特にクリーンエネルギーに特化。世界有数のR&Dセンター長、有名教授、ノーベル賞受賞者など「天才」のエージェントを遂行するサンフランシスコのGeniisisの創業メンバーの一人としても活躍。Geniisisは企業と有能なIPや天才の頭脳を効率よく融合させる目的で考案された「天才」のための国際的組織。

以前はハイドリック&ストラグル（H&S：世界5大のサーチファームの1つ）にマネージングパートナーとして従事し、ニューヨークおよび東京を拠点に世界80カ所のH&S事務所を網羅。H&S社初のアジアからの取締役として1999年の同社IPOに貢献した。H&S日本代表当時、H&S社シカゴ本社社長になったKevin Kelly氏を東京で採用し育てた。Nancy Garrison-Jenn氏の著書「世界のトップ200エグゼクティブリクルーター」で世界最高のエグゼクティブリクルーターのひとりとして紹介される。また、John Naisbitt氏著書「メガトレンド・アジア」で引用された唯一のエグゼクティブリクルーターとしても世界的に有名。H&S社IPO後まもなく、マサチューセッツベンチャーキャピタルSOGファンドのジェネラルパートナーとして米国中心に活躍。

ハイドリック&ストラグル社以前は、ボストン・サイエンティフィック社（世界トップハイテク医療器具企業）にアジア地区を統括する東京でボストン・サイエンティフィック・ジャパン初代代表取締役を6年務め、この間に日本から心臓ステントを世に送り出し後に米国本社のニューヨーク証券取引所上場に寄与。ニューヨークBoiceDunhamAoyama（戦略コンサルティング会社）においては、社長としてダン&ブラッドストリート(D&B)社の日本進出に貢献した。

ウィスコンシン州ベロイト大学で国際関係学と物理学で卒業。デューク大学にて日本人として初めてMBAを取得。後にデューク大学日本同窓会会長およびデュークビジネススクール（Fuqua）理事を務めDr. Tom Keller学長とともに世界初インターネットを使用したグローバルMBAプログラムの導入に大きく貢献した。

またリサーチ・トライアングル・パーク R.T.P.（米国ノースカロライナ州にある研究地域）への日本企業誘致に尽力したことに対し、ノースカロライナ州知事より公式に感謝状を受領。1997年には日本における初めてのカートタイプコーヒーショップチェーンを起業し、知的障害者の雇用創設に貢献。コーヒーショップカート1号店（実用新案登録済）は日本初の高層ビル、霞が関ビルに設けられた。このカートショップを通し日本に初めてスムージーを紹介、高島屋においては坪あたりの記録的売上を達成した。2002年の売り上げが3億円に達した時点で社員たちに会社の株に一億円とともに寄贈し会社を社員に寄贈した。

1973年より米国連邦航空局(FAA)認定パイロット。